

# 令和4年度 SSH 生徒研究発表会

## 本校代表班が神戸でポスター発表を行いました

8月3日（水）、4日（木）の2日間、神戸国際展示場において、SSH 生徒研究発表会が開催されました。この大会は、全国の SSH 指定校等の生徒が日頃の課題研究等の探究活動における研究成果をお互いに発表することで、SSH 指定校等間の交流を促すとともに、生徒の科学技術に対する興味・関心を一層喚起し、SSH の活動を広く発信することで、各 SSH 指定校の成果の普及等を図ることを目的に、毎年8月に開催されています。本年は、3年ぶりに発表者が一堂に会しての大会となり、厳重な新型コロナウイルス感染対策が取られる中での開催でした。参加校は全国 220 校で、各校の代表 220 テーマの研究発表が盛大に行われました。本校からは数理探究科3年 柿本紗弥さん、福田結衣さんの両名による「長崎県島原半島の温泉に生息する細菌類とプランクトン類について」の研究発表を行いました。その中で、異なる温泉水に生息する緑色硫黄細菌の違いや高温高酸性条件で生活するワムシの新発見に関するポスター発表を行いました。

ポスターによる研究発表を行うなかで、審査も行われ、2日目には選出された代表6校による口頭発表が行われ、その様子は全国に YouTube ライブ配信されました。本校は、残念ながら代表校に選出されませんでした。審査員を務めた大阪大学教授から、新発見のワムシが高く評価され、今後の研究の発展に期待を寄せて頂きました。

全国の優れた研究発表を見聞きして、参加した2人は、自分たちの探究活動に不足していた点や良さを知るなど大いに刺激を受けたようです。また、後輩にワムシの研究を引継いでもらうことを熱望するとともに、自身の将来の探究活動への意欲を高めていました。

